

第三回 理事会

出席者：小林央、祝部、陶山、吉岡、岩根、錦織、秋吉、藤井、傍島、白鹿、
石倉、石川、森脇

委任状：元廣、岩本、楠田、宇都宮、堀江、篠崎

有識者：福島由美（松江学校）

時間：14:30-16:30

場所：たきコミセン

■ 小林会長あいさつ

(報告事項)

■ 特別支援教育情報交換会（担当：福島由美先生）

協会は OT の役割として、特別支援教育を確立させていきたい。

そのために、特別支援教育の実情を把握したい。

県によっては、モデル事業として進めているところがある。

島根は特別支援に関わっている OT（28名）が全国的と比較しても多い。

今後の課題

（教育委員会とのつながりの構築）

→教育委員会へ OT が何ができるのかを伝えていく。教育委員会の要望を把握していく。

（学校へ支援できる人材育成）

47 委員会の意見として、県士会レベルでの研修会を開いたらどうか？

教育委員会の方に講師として呼ぶことはどうか？。

→県庁や教育委員会へ資料をもって訪問していく。

作業療法がやっていることを発信する。

医療政策課から教育委員会へアプローチ可能。

今年度内に実現するよう進めていく。

個人的な依頼があった場合はどこに相談をもちかける？→検討

特別支援教育関連について、おおはいごんで案内をだしていく（陶山事務局より石田先生へ依頼済）。

- 出雲・大田ブロック研修会について（岡庭先生）
- 出雲・大田ブロック研修会について（OBP2.0）
- 馬庭教授就任お祝い
- 福利部 ボーリング大会
継続して開催を期待。家族連れなどでの参加検討を。
参加者増のため直接的な声かけをしていきましょう。
- 新人歓迎会
参加者少ない。時代背景を踏まえ、開催の有無も含めて検討が必要。
- 学会査読
例年、査読期間が短い。再査読の修正期間が数日の人もいた。
演題締め切りの見直しが必要。6月いっぱいを締切になっており査読や修正等の時間が限られてしまう。
来年度は募集含めて広報は早めに行い対応していく。

（協議事項）

- フェスタ表彰について→承認
学会閉会式で表彰予定。
- 講師派遣について→承認
今回は石倉先生に依頼済み。
今後は県士会から派遣という形にするため、窓口は渉外部が行う。
まずは以前アンケート調査をしたものがあるため、確認してみてもは？
- 平成30年度作業療法推進モデル事業→承認
今年度は見送り。
来年度以降で指定テーマと当会の目的が合致していれば申請していく。
- 保険研修会→承認
多くの方が参加できるように、幅広く広報を。
- 中国地区リーダー養成研修→承認
クローズ研修会について。それぞれのテーマに応じた担当者に依頼。

- フェイスブック投稿について→文言修正し承認
投稿権限について文言を修正。
「理事および会長が必要とするもの」
- ブロック長会について→承認
ブロック長に委嘱状の発行を。
事務局長よりブロック長の宛先を吉岡先生に連絡。
- 学会担当理事について→継続協議。次回理事会で再協議。
学会実行委員で疑問質問がでた場合に担当者がいればスムーズな運営につながる。
担当者が遠方になる場合もある。時間および交通費の負担は？
学会部を設けることは承認。
具体的な組織体制については、三役で協議し次回の理事会で再度提案。

(その他)

- 4 団体交流会について
- フェスタのときの広報等について。
NHK に依頼するのであれば、傍島先生の NHK の友人へ連絡可能。
県庁の記者クラブにいくと幅広く広報できそう。
- 今年度県学会について
各部局の紹介を行う。
部を知ってもらおう&部員の勧誘につながれば。
オリジナリティ大歓迎。
10月6日締切
- 渉外部
部会を開催。島根県の作業療法の情報を把握していく。
それぞれの部にお伺いしていくかもしれないためご協力を。

■ 学術部より。

投稿規定を作成中。

発行に向けて予算等を検討していく。

協会のアニュアル本の貸し出しについて。

毎年、更新が必要なのか？

会長：貸し出し実績がないのであれば、更新はしないかどうか。

理事内で更新なしと決議。

次回理事会

11月25日 14時から

たきコミセン